

気になったから勝手に調べた ブログ

8月号「台風で風力発電？」



お疲れ様です。オバケより暑さと静電気が苦手な、管理課の村田です。
毎年、日本近海では台風が発生し、大きな被害をもたらすものもあります。
そんな中、ふと「この風で発電出来ないの？」と
・・・これって世界初のアイディアかも？特許を取って大金持ちかも？涼しい国に移住かも？
と、そんな妄想も頭をよぎり、ルンルン気分で調べてみたら・・・普通にありました(^^;



台風の風は強すぎて、普通の風車で発電は無理？

一般的な風力発電は、風速10～15m/s程度が最も適しています。
台風の風速は30～50m/sに達し、発電機は25m/sを超えると安全のために停止します。
「台風の風」では、強すぎてかえって発電には向かないそうです。



“最新”の風力発電

台風でも止まらない新しい形の風車が開発されています。
その名も「垂直軸型マグナス式風力機」
円柱がくるくると回って発電する仕組みで、強風にも耐えられる設計です。
風車が無いので鳥達もぶつからず、音も静かで環境にも優しい設計です。



「横浜国立大学」の研究

「台風発電船」と呼ばれる船が研究中です。これは台風からの強風を帆に受けて同じ速度で移動します。その時に海中のプロペラを回し発電する仕組みです。
もし、年間20個の台風を5日間追いかけて発電できたとなると、
日本の一般家庭の約825万世帯分の年間消費電力量に相当するそうです！

これまで「怖いもの」と思われてきた台風が、新しい「エネルギーの源」になるかもしれない、未来を考えると、わくわくしますよね。
しかし夢のある話ばかりではなく、設備のコストや突風・乱流への対応など、技術的な課題もまだあって、実用化には時間がかかりそうです。

・・・正直、特許が取れないのは薄々感じていましたが、
温室効果ガスや核のゴミなどの有害なものが出ない再生可能エネルギーのこれからは、超大期待ですね(^^)

次回は
「月見になぜ団子を食べる？」を予定しております。

